

## 第4章

### 「人と文化」が共生・調和するまちづくり

---

第1節 歴史に学び、文化を発信享受するまち

第2節 新しい文化を創造するまち



## 歴史に学び、文化を 発信享受するまち

### 施策

# 福井の 歴史と文化を 再生する

### 現状・課題

福井は、戦災、震災等幾多の災害により、歴史的遺産や町並みの多くが失われてしまいました。

また、利便性や機能性を重視したまちづくりや生活に対する価値観の変化によって、郷土の歴史や文化・伝統の一部が失われています。

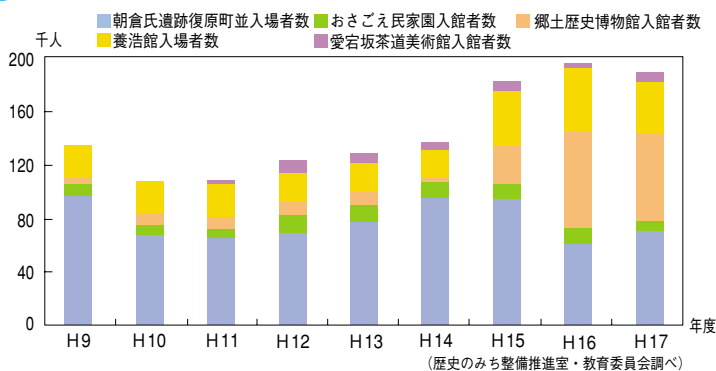
しかし、過去を学ぶことなしに、現在を知ることはなく、現在を知らずに未来を切り拓くことは出来ません。

“福井らしさ”を創造・発信していくためには、市民一人ひとりが歴史や文化を学び、その価値を認識し生活の中に活かす必要があります。

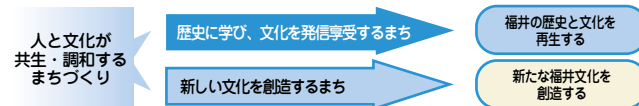
### 施策の方向性

- ・ 福井の歴史的・文化的資源の活用
- ・ 福井の歴史、文化にふれることのできるまちづくり

● 歴史施設等入場者数



●用語説明  
 \*1 歴史文化施設：一乗谷朝倉氏遺跡復原町並、おさごえ民家園。  
 \*2 歴史のみえるまちづくり協会：福井市が持つ歴史的遺産を活かしたまちづくりを行う財団。福井の伝統文化の保全や活用、「語り部」の登録、子ども歴史クラブの設置など市民に根ざした活動を行っている。  
 \*3 伝統的民家・歴史的建造物：伝統的民家とは木造の住宅その他の建築物であって、地域において受け継がれてきた福井に特有の形態及び意匠を有するものであり、歴史的建造物とは地域の歴史・生活史を表現し、地域の景観を形成しているもの。



### 課題を解決するために

#### 基本柱1 福井の歴史文化を大切に

福井の歴史的、文化的資源を新たな視点で再評価し活用する。

中 柱	内 容
埋もれている文化財の学術調査	◎ 埋蔵文化財の発掘調査 ◎ 歴史博物館資料等の調査研究
文化財の保存、整備	◎ 文化財の保護 ◎ 文化財とふれあう機会の提供 ◎ 一乗谷朝倉氏遺跡の調査、整備
福井歴史の伝承	◎ 一乗谷朝倉氏遺跡の管理運営 ◎ 市史の編さん・刊行 ◎ 公文書等歴史的記録資料の収集保存 ◎ 伝統文化の継承と発信

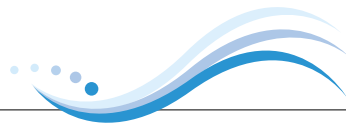
指標 92	歴史文化施設*1の入場者数	基準値 (H17)	77,353人	目標水準 (H23)	101,000人
-------	---------------	-----------	---------	------------	----------

#### 基本柱2 歴史を感じられるまちをつくる

歴史的資源を人々にわかりやすく紹介し、文化性豊かな個性的なまちづくりを進める。

中 柱	内 容
城下町福井の歴史回廊の整備	◎ 養浩館周辺、福井城址周辺、北の庄周辺と足羽山を結ぶ歴史を感じさせる散策回廊の整備
歴史に対する市民意識の高揚	◎ 「歴史のみえるまちづくり協会」*2と連携した歴史学習の場の提供、郷土の偉人顕彰事業の推進及び情報の発信事業の推進 ◎ 歴史的施設の親しみやすい運営 ◎ 伝統的民家・歴史的建造物*3の保存促進

指標 93	養浩館・歴史博物館・茶道美術館・桶囃子記念文学館入館者数	基準値 (H17)	124,602人	目標水準 (H23)	171,000人
指標 94	伝統的民家・歴史的建造物等指定数	基準値 (H17)	2件	目標水準 (H23)	14件



## 新しい文化を創造するまち

### 施策

# 新たな福井文化を創造する

### 現状・課題

日々の生活に潤いと活力をもたらしてくれる文化は、人々の活動や交流の中から、様々に生み出されます。

伝統的な文化価値を尊重しつつ、多様な文化との交流によって新しい文化価値を生み出し、創造力が喚起されることで、活力ある社会が形成されます。

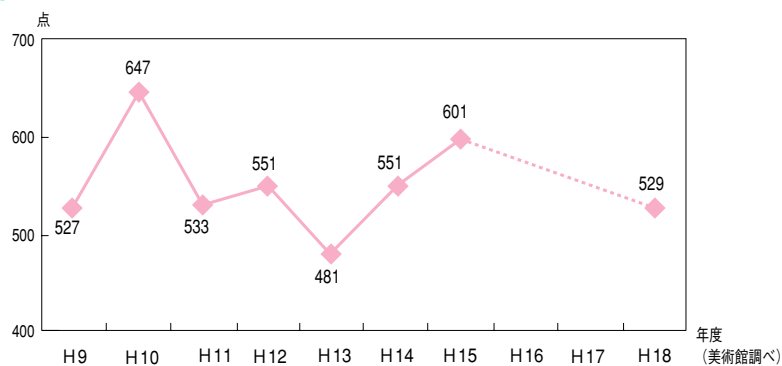
本市では、国民文化祭\*1において取り組まれた文化的な活動を、より一層大きく育てることが求められています。

これからは、さまざまな文化を再評価することや他の地域文化との交流により、新たな文化を生み出し、福井固有の文化を、情報発信していく取り組みが必要です。

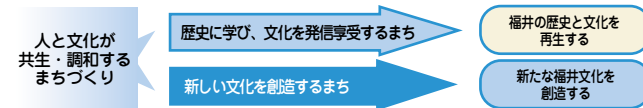
### 施策の方向性

- ・ 文化活動に参加しやすい環境づくり
- ・ 福井文化の再評価
- ・ 地域文化、産業、学術などの分野を越えた交流と連携
- ・ インターネット等による学術文化情報の発信

● 市美展作品出品数



●用語説明 \*1 国民文化祭：急速に高まっている国民の文化活動への参加意欲に応えるとともに、国民の文化活動の水準を高めるため、昭和61年度から開催している国民の文化の祭典のことで、福井では平成17年10～11月に開催された。  
 \*2 地域創造事業：地域の伝統文化の継承、新しい文化の創造・発信、地域文化の担い手（人材）の育成等をする事業。  
 \*3 姉妹友好都市：米国ニューブランズウィック市、フラトン市、中国杭州市、韓国水原市、熊本市、結城市と提携。  
 \*4 福井市国際交流協会：平成8年7月に設立され、市民レベルの国際交流を進める中核的な組織。  
 \*5 国際交流ボランティア：国際交流に意欲と熱意のある人が通訳・ホームステイ等、協力スタッフとして登録し、国際交流事業の支援を図るもの。  
 \*6 ジュニア大使：市内の中学生で、姉妹友好都市に派遣し、学校訪問やホームステイ等を行っている。  
 \*7 ものづくり見学・体験施設：『知る・見る・体験する』をキーワードに、福井を産業の分野から体感させるユニークで多彩な産業観光施設のこと。  
 \*8 市民アトリエ：市民が美術の多様な表現世界を知ることや自らも同じ素材や技法で作品を制作する活動。



## 課題を解決するために

### 基本柱1 市民の文化創造性を高める

市民が幅広い文化活動に参加できるようにするため、環境整備を進める。

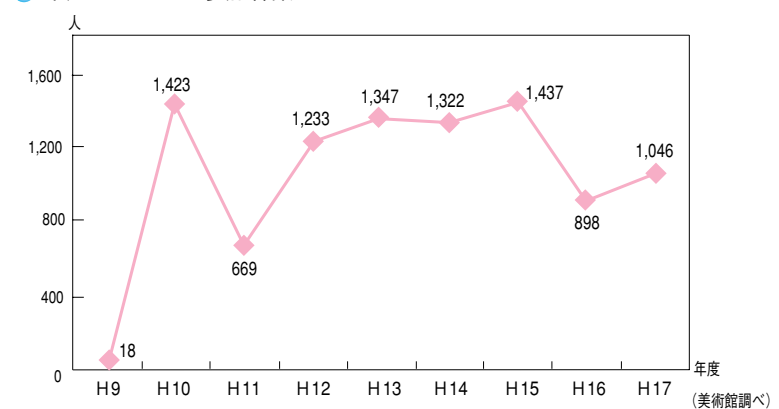
中 柱	内 容				
多様な文化活動の推進	◎ 文化活動団体の支援 ◎ 活動の場の提供 ◎ 文化振興功労者の顕彰 ◎ 市民の企画による文化イベントの開催				
文化に触れる機会の提供	◎ 学校教育における文化の啓発 ◎ 文化施設の管理・整備 ◎ 文化施設の展示内容の充実 ◎ 文化資料情報の発信 ◎ 自主学習した趣味を文化として高める ◎ 映像文化の振興				
指標 95	市美術館入場者数	基準値 (H17)	105,872人	目標水準 (H23)	127,000人
指標 96	芸術文化企画 (地域創造事業)*2への市民参加数	基準値 (H17)	3,870人	目標水準 (H23)	4,700人

### 基本柱2 多様な文化にふれあう機会を増やす

多様な文化に対する理解を深めるため、福井の地域の文化を見つめ直し、国内・外の市民との交流を進める。

中 柱	内 容				
多様な文化との交流	◎ 日本や福井以外の文化に触れる機会を提供するため姉妹友好都市*3等との交流を行う ◎ 「福井市国際交流協会」*4と連携した事業の推進				
福井の地域文化の発信	◎ 産・学・官の連携による福井のさまざまな文化の再評価とデータベース化 ◎ 地域に根ざした学術文化の創造 ◎ 福井のものづくり文化の発信				
指標 97	国際交流ボランティア*5登録数	基準値 (H17)	113人	目標水準 (H23)	170人
指標 98	福井市ジュニア大使*6派遣人数	基準値 (H17)	162人	目標水準 (H23)	220人
指標 99	ものづくり見学・体験施設*7数	基準値 (H17)	13ヶ所	目標水準 (H23)	24ヶ所

● 市民アトリエ\*8参加者数



◎補完指標 ・市美展作品出品数、市民アトリエ参加者数  
 ・国内姉妹都市交流参加者数